


リストNo	16-001	施設コード	01105	
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設			
施設名	看護専門学校			
所在(町名・番地)	中区佐鳴台五丁目108-1			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	学校	
所管課	本庁	健康福祉部看護専門学校	課長名 中村 その子	
	施設	健康福祉部看護専門学校	課長名 中村 その子	
設置根拠(法)	学校教育法(昭和22年法律第26号)第127条			
条例	浜松市立看護専門学校条例			
設置目的	地域に貢献できる有能な医療スタッフの育成を支援するための看護師養成施設の管理運営			
主な利用者	1学年定員70名、総人数210名			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	3,578.42	土地面積 3,954.88	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		うち所有面積 3,954.88
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	2019/2/25		
経過年数(主要建物)	4	代表地目(現況地目) 宅地		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	1,235,645	—	1,235,645
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	1,000,000	—	1,000,000
	市債	—	—	—
一般財源	235,645	—	235,645	
特記事項	—			



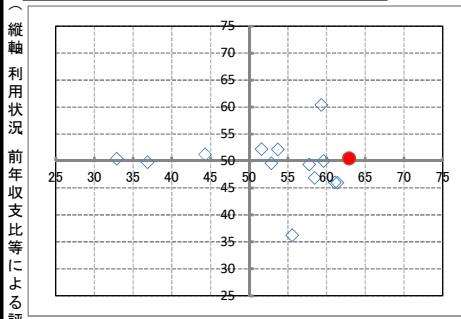
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	37,105	38,503	32,717
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	480	464	368
	収入計(A)	37,585	38,967	33,085
支出(千円)	人件費	171,000	171,800	164,800
	物件費(委託料)	9,372	8,519	8,054
	維持補修費(修繕費)	312	201	188
	物件費(光熱水費)	9,143	7,060	6,162
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	189,827	187,580	179,204	
行政コスト(B-A)	152,242	148,613	146,119	
収支前年比	102.44	101.71	100.24	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	17,842	17,842	17,842	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	210	210	210
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	6	6	6
生徒数	203	207	204	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	307,325	738,429	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	平成30年度浜松市立看護専門学校旧校舎種地解体工事	100,013			
2018	浜松市立看護専門学校新築移転工事(機械設備工事)	253,701				
2018	浜松市立看護専門学校新築移転工事(電気設備工事)	126,861				
2018	浜松市立看護専門学校新築移転工事(建築工事)	636,312				
2017	浜松市立看護専門学校新築移転工事(建築工事)	168,131				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
22-001	浜松医療センター	広域	0.3
04-010	博物館	市域	0.4
04-035	旧高山家	文化財	0.4
04-034	蛸塚遺跡	文化財	0.4
26-007	御前谷ポンプ場	—	0.7
15-099	佐鳴台中学校	生活	0.8
08-005	佐鳴台保育園	生活	0.8
15-109	蛸塚中学校	生活	0.9

施設周辺地図情報	
	

基本情報	リストNo	16-001	施設コード	01105	所管課	本庁	健康福祉部看護専門学校
	施設名	看護専門学校		施設	健康福祉部看護専門学校		
	人員数	正規職員(人)	20	会計年度任用職員(人)	7	再任用(人)	1
複合施設							
関連政策名							
地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成							
設置の妥当性	設置目的(再掲)						
	地域に貢献できる有能な医療スタッフの育成を支援するための看護師養成施設の管理運営						
	主な業務内容	看護師国家試験受験資格要件である旧課程3000時間、新課程3087時間の講義、演習、実習の実施					
	主な利用者	1学年定員70名、総人数210名					
	設置目的の継続性・妥当性						
設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				依然として看護師の必要人数は充足されていない			
中長期(今後10年程度)のニーズ予測				看護師不足の解消には至っていないと思われる			
特記事項				—			
施設運営分析	事業名・開催回数(2022)						
	事業①	学校管理運営事業	2022	254,875	—	—	—
		・出願者数:2022年度115人、2021年度138人、2020年度182人	2021	248,875	—	—	—
		・受験者数:2022年度107人、2021年度125人、2020年度166人	2020	249,189	—	—	—
		・入学者数:2022年度61人、2021年度64人、2020年度67人					
	事業②	看護師就業促進事業	2022	242	—	—	—
		・図書室利用者数:2022年度2人、2021年度5人、2020年度6人	2021	228	—	—	—
		・再就職、離職防止の悩み相談等:2022年度41人、2021年度61人、2020年度46人	2020	518	—	—	—
	事業③	—	2022	—	—	—	—
		—	2021	—	—	—	—
—		2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	
	—	2021	—	—	—	—	
	—	2020	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	平成31年の完成から、毎年多少の不具合は発生しているものの、その都度施工業者等へ連絡して対応している。今後も施工業者及び事業担当課と連携しながら施設の適切な維持管理に努めていく。					
	対応策	—					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生導入	学校教育法上、学校の管理運営は設置者が行うこととなり民間導入は難しい。仮に民間の病院等に移管した場合、母体病院のための職員育成が根本となってしまうため、定員減は避けられない。当校の目的である地域の医療を担う人材育成の観点から、現在の定員の確保と公立学校としての運営が望ましい。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	42,544	41,530	40,833	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	724,962	707,681	695,805
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考	 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 前年収支比率等による評価</p>				 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 利用状況等による評価</p>			
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。</p> <p>給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。</p> <p>その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>平成30年度に現在地へ移転新築した。旧校舎から敷地が半減したため、校舎棟を2階建てから3階建てにし、講堂と体育館を兼用するなど他の施設についても複数の機能を持たせ、限られたスペースの中で効率的に活用できる施設として運用していきたい。</p>								

リストNo	16-002	施設コード	01613
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設		
施設名	青少年の家		
所在(町名・番地)	中区住吉四丁目23-1		
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	こども家庭部次世代育成課	課長名 園田 俊士
	施設	こども家庭部次世代育成課	課長名 園田 俊士
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市立青少年の家条例		
設置目的	創造的な体験や交流活動の場を提供し、もって次代の社会を担う青少年の健全な育成を図る。(浜松市立青少年の家条例第1条)		
主な利用者	子ども会・ボーイスカウト・ガールスカウトなどの次世代育成団体、小・中学校、高等学校など		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~		
管理者名	遠鉄アシスト(株)		
開館時間	9:00 ~ 21:30		
建物情報	総延床面積	1,403.67	土地情報
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2010/1/27	
	経過年数(主要建物)	13	
用途地域	第一種低層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	315,290	—	315,290
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	315,290	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,747	1,944	2,081
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2,152	2,917	1,630
	収入計(A)	4,899	4,861	3,711
支出(千円)	人件費	29,263	30,660	28,657
	物件費(委託料)	4,811	4,405	4,315
	維持補修費(修繕費)	1,276	276	0
	物件費(光熱水費)	3,316	2,390	2,262
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	38,666	37,731	35,234	
行政コスト(B-A)		33,767	32,870	31,523
収支前年比		102.73	104.27	89.70
(参考)指定管理料		42,778	42,778	42,778
(参考)減価償却費		8,328	8,328	8,328
利用状況	利用コマ数/年	14,247	11,562	13,146
	利用可能コマ数/年	41,930	43,568	40,382
	施設利用者数/年	33,624	29,134	29,130
	開館日数/年	319	318	295
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	285,517	168,735	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	西側駐車場アスファルト舗装工事	9,990			
2009	改築事業(建築工事)	156,494			
2009	改築事業(機械設備工事)	69,825			
2009	改築工事(電気設備工事)	48,434			
2007	排水管撤去工事及び新排水設備設置工事	5,460			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
16-014	防災学習センター	市域	1.5
同分類			
その他の分類			
15-103	高台中学校	生活	0.4
25-001	住吉庁舎	—	0.4
01-007	計量検査所	市域	0.5
03-069	金屋会館	コミュニティ	0.5
14-035	浜松第9分団	コミュニティ	0.6
13-008	住吉一丁目団地	地域	0.7
13-009	住吉二丁目団地	地域	0.8
07-010	城北第2放課後児童会	生活	0.8



基本情報	リストNo	16-002	施設コード	01613	所管課	本庁	子ども家庭部次世代育成課
	施設名	青少年の家		施設	子ども家庭部次世代育成課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	若者の自立を促す環境づくりの推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		創造的な体験や交流活動の場を提供し、もって次代の社会を担う青少年の健全な育成を図る。(浜松市立青少年の家条例第1条)					
		主な業務内容	自然体験活動・社会体験活動・スポーツ活動などの主催事業の実施、施設貸出業務など				
		主な利用者	子ども会・ボーイスカウト・ガールスカウトなどの次世代育成団体、小・中学校、高等学校など				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 次世代育成団体を中心に一定の利用者があり需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 少子化や核家族化、家族形態の多様化に伴う変化が予想される。						
	特記事項 「都市型野外体験宿泊研修施設」としての存在は貴重であり重要						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		主催事業 ※年度により内容は異なる	2022	—	—	3,288	
			2021	—	—	2,009	
			2020	—	—	1,781	
事業②		貸館業務(宿泊利用を含む)	2022	—	—	33,624	
			2021	—	—	29,134	
			2020	—	—	29,130	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の劣化と敷地内の立木の管理。					
	対応策	日常点検等を通じ、施設の劣化や立木の状況を把握するとともに、計画的な改修等により事故防止に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	平成23年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	24,056	23,417	22,458	1人当たりのコスト(円)	1,004	1,128	1,082
	施設利用率(%)	34.0	26.5	32.6	1開館日当たりのコスト(円)	105,853	103,365	106,858
	1日当たり利用者(人)	105	92	99	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p> <p>利用状況等による評価(横軸)</p>							
参考	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。</p>							
個別方針	<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。</p> <p>給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。</p> <p>その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
個別方針	当面適切な維持管理に努める。							

リストNo	16-003	施設コード	04678	
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設			
施設名	動物愛護教育センター			
所在(町名・番地)	西区館山寺町199			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	都市整備部動物愛護教育センター	課長名 鈴木 秀幸	
	施設	都市整備部動物愛護教育センター	課長名 鈴木 秀幸	
設置根拠(法)	動物の愛護及び管理に関する法律第三十七条の二			
条例	—			
設置目的	動物の命を大切にすることを普及啓発、動物との正しい接し方、飼い主のいない犬・猫をを少なくし「動物を愛するまち浜松」を進める。身近な家庭動物から動物園で飼育する野生動物を題材とした「いのちの教育事業」を行い、動物園入園者の増加を図る。			
主な利用者	犬猫の飼い主、譲り受け希望者、ボランティア団体など			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 17:15			
建物情報	総延床面積	994.87	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2014/3/20		
	経過年数(主要建物)	9		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	314,114	—	314,114
財源	国・県	267,934	—	267,934
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	46,180	—	46,180
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	46,455	40,600	44,100
	物件費(委託料)	1,834	1,838	1,895
	維持補修費(修繕費)	25	69	66
	物件費(光熱水費)	2,893	2,375	2,219
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	51,207	44,882	48,280
行政コスト(B-A)		51,207	44,882	48,280
収支前年比		114.09	92.96	82.03
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		4,666	4,666	4,666
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	606	606
	施設利用者数/年	—	3,253	2,646
	開館日数/年	—	270	282
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	191,288	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-004	動物園	広域	0.0
08-037	北庄内幼稚園	生活	0.4
25-049	上下水道部西営業所		0.5
04-005	フラワーパーク	広域	0.6
18-064	旧北庄内小学校	地域	0.7
14-052	浜松第39分団	コミュニティ	0.9
03-096	平松会館	コミュニティ	1.2
20-006	平和最終処分場	地域	1.2



基本情報	リストNo	16-003	施設コード	04678	所管課	本庁	都市整備部動物愛護教育センター			
	施設名	動物愛護教育センター			施設	都市整備部動物愛護教育センター				
	人員数	正規職員(人)	6	会計年度任用職員(人)	6	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	動物園の再生								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		動物の命を大切にすることを普及啓発、動物との正しい接し方、飼い主のいない犬・猫をを少なくし「動物を愛するまち浜松」を進める。身近な家庭動物から動物園で飼育する野生動物を題材とした「いのちの教育事業」を行い、動物園入園者の増加を図る。								
		主な業務内容	狂犬病予防法及び動物の愛護及び管理に関する法律に関する業務							
		主な利用者	犬猫の飼い主、譲り受け希望者、ボランティア団体など							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			増加傾向にある						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			令和2年に動物の愛護に関する法律が改正され、センターの設置が規定され、ニーズはより増加している						
	特記事項			社会のニーズに対応していく必要がある業務である						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	いのちの教育事業・13回	2022	243	—	参加者数	302			
			2021	—	—	—	391			
			2020	—	—	—	114			
	事業②	動物取扱責任者研修会・1回	2022	—	—	—	405			
			2021	—	—	—	—			
			2020	—	—	—	—			
	事業③	犬猫の譲渡(来館者数)	2022	—	—	—	2,248			
			2021	—	—	—	3,253			
			2020	—	—	—	2,646			
事業④	—	2022	—	—	—	—				
		2021	—	—	—	—				
		2020	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現時点において問題点は感じられない。								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	平成30年度より動物愛護教育センター協力ボランティア活動を開始									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	51,471	45,113	48,529	1人当たりのコスト(円)	—	13,797	18,246
	施設利用率(%)	—	0.0	0.0	1開館日当たりのコスト(円)	—	166,230	171,206
	1日当たり利用者(人)	—	12	9	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性							
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価(横軸)</p>				
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
当面適切な維持管理に努めつつ、効率的な施設運営を進める。								

リストNo	16-004	施設コード	04010
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設		
施設名	外国人学習支援センター		
所在(町名・番地)	西区雄踏町宇布見9611-1		
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	企画調整部国際課	課長名 松井 由和
	施設	企画調整部国際課	課長名 松井 由和
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	外国人の子どもから大人までを対象とした総合的な学習支援の拠点として、日本語教室の開催をはじめ、日本語ボランティア養成講座、多文化体験講座等の各種講座を市民協働により実施する。		
主な利用者	外国人市民、日本人ボランティア		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00～17:00		
建物情報	総延床面積	2,525.55	土地面積 7,468.29
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.72	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1971/9/1	
	経過年数(主要建物)	51	
用途地域	第二種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	4,396	4,662	4,657
	収入計(A)	4,396	4,662	4,657
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	53	53	0
	維持補修費(修繕費)	1,939	3,091	783
	物件費(光熱水費)	4,015	2,892	2,817
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	6,007	6,036	3,600
行政コスト(B-A)		1,611	1,374	-1,057
収支前年比		117.25	-129.99	76.26
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	15,971	15,971
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	4,500	4,800	6,239
	開館日数/年	243	243	243
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	361,306	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外壁改修	27,784	2009	耐震補強工事	14,743
2022	屋外バス待合所解体工事	16,486			
2011	中庭整備・屋上防水改修工事	14,846			
2009	改修工事(建築工事)	84,639			
2009	改修工事(電気設備工事)	41,194			
2009	改修工事(機械設備工事)	36,764			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
16-009	雄踏学校給食センター	地域	1.4
18-005	旧雄踏総合事務所別館	地域	0.0
05-039	雄踏グラウンドダックアウト	小規模等	0.1
15-122	雄踏中学校	生活	0.2
10-005	ふれあい交流センター湖南	地域	0.3
13-038	領家団地	地域	0.4
04-036	重要文化財中村家住宅	文化財	0.4
06-009	雄踏図書館	地域	0.6
15-047	雄踏小学校	生活	0.8



基本情報	リストNo	16-004	施設コード	04010	所管課	本庁	企画調整部国際課
	施設名	外国人学習支援センター			施設	企画調整部国際課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	世界とのつながりと多様性を生かした都市の活性化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		外国人の子どもから大人までを対象とした総合的な学習支援の拠点として、日本語教室の開催をはじめ、日本語ボランティア養成講座、多文化体験講座等の各種講座を市民協働により実施する。					
		主な業務内容	外国人学習支援センターの管理、日本語教室等の各種講座の運営(委託事業)				
		主な利用者	外国人市民、日本人ボランティア				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 開設以来一定の利用者(延べ万人)があり需要は減少は見られない。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 日本語教育関連の法律施行により、本施設のニーズは今後より高まっていくと予測される。						
	特記事項 居住者の定住化傾向がみられる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		■事業名 日本語学習支援講座 ■開催実績 2020年度:283回、2021年度:335回、2022年度:390回	2022	5,361	—	3,564	
			2021	4,117	—	3,901	
			2020	4,117	—	5,348	
			2022	645	—	787	
事業②	■事業名 日本語学習等支援者養成講座 ■開催実績 2020年度:42回、2021年度:41回、2022年度:42回	2021	645	—	755		
		2020	645	—	744		
事業③	■事業名 多文化理解・交流事業 ■開催実績 2020年度:3回、2021年度:4回、2022年度:4回	2022	209	—	109		
		2021	209	—	80		
事業④	—	2020	209	—	86		
		2022	—	—	—		
2021	—	—	—				
2020	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	施設は築後50年経過し、今後は窓枠、受水槽タンク、排水管、ベランダ手すり等塗り替えなどの設備老朽化への対策が必要であると考え。					
	対応策	現在は不具合が生じた箇所を修繕するとともに、老朽化の懸念箇所については状況を見つつ計画的に管理していく。また、令和4年度実施の建築設備劣化度調査の結果を踏まえ、設備工事の設計、監理を所管する公共建築課と施設状況を共有し、修繕の検討をしていく。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民活導入	平成30年度から施設管理を民間事業者へ委託済。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	638	544	-419	1人当たりのコスト(円)	358	286	-169
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	6,630	5,654	-4,350
	1日当たり利用者(人)	19	20	26	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努めつつ、1階部分について効率的な施設運営を進める。								

リストNo	16-005	施設コード	01990		
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設				
施設名	教育センター				
所在(町名・番地)	北区東三方町143-4				
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育センター	課長名 青島 治道		
	施設	学校教育部教育センター	課長名 青島 治道		
設置根拠(法)	教育公務員特例法第21条第2項				
条例	浜松市教育センター条例				
設置目的	「浜松市の目指す教育の姿」における「目指す子供の姿」実現のため、「目指す教職員の姿」である愛情と情熱を持ち続ける教職員、専門性と指導力を磨き続ける教職員の育成を図る。				
主な利用者	市内の幼稚園、小中学校、高等学校の教職員、社会教育諸団体等				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00～17:30				
建物情報	総延床面積	990.00	土地面積	4,448.96	
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	4,448.96
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2015/3/20			
	経過年数(主要建物)	8		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域	市街化調整区域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	312,090	40,528	352,618	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	286,679	38,421	325,100	
一般財源	25,411	2,107	27,518		
特記事項	—				



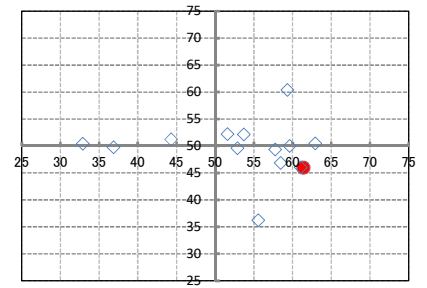
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	4	3	115
	収入計(A)	4	3	115
支出(千円)	人件費	103,600	107,800	107,200
	物件費(委託料)	2,488	2,290	2,332
	維持補修費(修繕費)	1,368	355	372
	物件費(光熱水費)	1,646	1,400	1,357
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	109,102	111,845	111,261
行政コスト(B-A)		109,098	111,842	111,146
収支前年比		97.55	100.63	100.55
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		5,892	5,892	5,892
利用状況	利用コマ数/年	1,030	1,219	916
	利用可能コマ数/年	3,766	3,766	3,780
	施設利用者数/年	10,086	10,812	7,869
	開館日数/年	269	269	270
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	40,528	171,081	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2014	移転新築工事(建築工事)	218,215			
2014	移転新築工事(機械設備工事)	52,069			
2014	移転新築工事(電気設備工事)	31,482			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
08-021	三方原保育園	生活	0.4	
01-020	北土木整備事務所	地域	0.5	
14-021	中消防署曳馬野出張所	地域	0.6	
03-050	三方原協働センター	生活	0.8	
13-058	豊岡団地	地域	0.9	
07-053	とよおか放課後児童会	生活	0.9	
15-073	豊岡小学校	生活	1.0	
08-057	豊岡幼稚園	生活	1.0	



基本情報	リストNo	16-005	施設コード	01990	所管課	本庁	学校教育部教育センター
	施設名	教育センター		施設	学校教育部教育センター		
	人員数	正規職員(人)	10	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	7
複合施設							
関連政策名 園・学校や教師の力の向上							
設置の妥当性	設置目的(再掲)						
	「浜松市の目指す教育の姿」における「目指す子供の姿」実現のため、「目指す教職員の姿」である愛情と情熱を持ち続ける教職員、専門性と指導力を磨き続ける教職員の育成を図る。						
	主な業務内容	教職員研修業務、教科書センター業務、貸館業務					
	主な利用者	市内の幼稚園、小中学校、高等学校の教職員、社会教育諸団体等					
施設運営分析	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 年間研修計画を立て通年実施。また、貸館も一定の利用団体等の需要あり。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 教職員の資質の向上を図るための研修施設であり、今後も不可欠である。						
	特記事項						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	教職員研修事業※のべ募集人員の欄は、年間研修計画によるのべ予定参加者総数の数値。※参加者数の欄は、年間研修計画によるのべ参加者総数の数値。	2022	9,051	15,242	14,777	
			2021	14,687	17,840	16,689	
			2020	15,884	18,231	10,088	
			2022	—	—	—	
事業②	—	—	—	—			
事業③	—	—	—	—			
事業④	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	2015.3.20に移転新築した施設であるが、8年が経過し修繕が必要な箇所が発生している。また、駐車台数(枠内108台)が限られているため、大人数での研修や貸館等で混雑する場合には、駐車台数を超過することがあり、必要台数を確保することができないことがある。					
	対応策	定期的なメンテナンスを行うとともに、必要な修繕を計画的に行っていく。 駐車台数に不足がある場合は、隣接する公益財団法人浜松市教育会館の駐車場を使用可能な時は借用している。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管		—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—		
記入欄	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民活導入	浜松市教職員の研修拠点施設であり、研修業務を担当する指導主事と予算、施設管理業務等を担当する事務職員が常駐して連携することで、事業運営面や研修受講者等に対して、迅速、適正かつ合理的な対応を可能としている。そのため、民間活力の導入については難しいと考える。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	110,200	112,972	112,269	1人当たりのコスト(円)	10,817	10,344	14,125
	施設利用率(%)	27.3	32.4	24.2	1開館日当たりのコスト(円)	405,569	415,770	411,652
	1日当たり利用者(人)	37	40	29	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考								
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>利用状況等による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。 給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。 その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努めつつ、効率的な事務スペースの配置を不断に実施する。								

施設カルテ 2023

リストNo	16-006	施設コード	00051	
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設			
施設名	かわな野外活動センター			
所在(町名・番地)	北区引佐町川名455-5			
利用者の圏域別分類等	市域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部指導課	課長名 内山 圭子	
	施設	学校教育部指導課	課長名 内山 圭子	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市かわな野外活動センター条例			
設置目的	自然の中での共同生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の健康の増進を図るために設置している。(浜松市かわな野外活動センター条例第1条)			
主な利用者	小中学校の児童生徒、一般団体等			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~			
管理者名	(公財)浜松市スポーツ協会			
開館時間	9:00 ~ 21:00			
建物情報	総延床面積	7,182.52	土地面積 281,859.47	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 2,662.15
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 279,197.32
	建築年月日(主要建物)	1989/3/27		
	経過年数(主要建物)	34		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—
特記事項	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、R4年度も施設利用者は日帰り又は1泊2日とし、1日1団体みの宿泊利用とした。また宿泊棟の定員も150人目安とした。 ・外灯設備更新工事等を施工したために冬期間(12/20-4/13)の施設利用を休止した。			



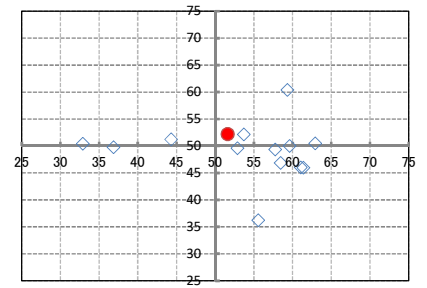
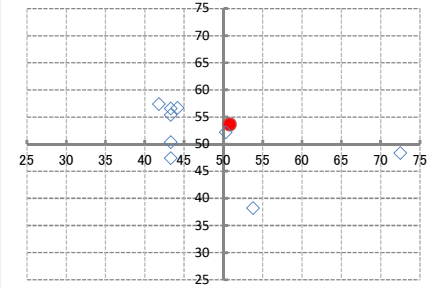
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,827	1,628	1,212
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3,374	2,535	2,281
	収入計(A)	5,201	4,163	3,493
支出(千円)	人件費	58,060	52,886	53,366
	物件費(委託料)	5,925	5,898	5,981
	維持補修費(修繕費)	6,608	7,022	6,402
	物件費(光熱水費)	6,958	4,081	4,358
	物件費(借地料)	8,987	8,987	9,000
	支出計(B)	86,538	78,874	79,107
行政コスト(B-A)		81,337	74,711	75,614
収支前年比		108.87	98.81	113.08
(参考)指定管理料		99,884	99,884	100,287
(参考)減価償却費		29,870	29,870	29,870
利用状況	利用コマ数/年	285	189	156
	利用可能コマ数/年	1,180	1,230	1,225
	施設利用者数/年	19,818	18,417	13,966
	開館日数/年	331	332	306
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	29,263	327,886	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	外壁改修	37,970	2021	本館棟浴室循環ろ過設備更新工事	14,102
2022	厨房設備更新工事	34,100	2020	受水槽(90t)自動減菌装置更新工事	4,950	
2022	外灯設備更新工事	31,240	2020	本館空調設備改修工事	24,200	
2022	屋根防水工事	8,228	2020	屋外給水配管更新工事	44,000	
2022	屋内消火栓ポンプ更新工事	2,970	2020	汚水処理槽No.1(キャンパ機系統)ろ過機改修工事	5,775	
2021	本館系統屋外給水配管更新工事	36,630	2019	LED照明更新工事	3,795	

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
18-058	旧川名幼稚園	地域	1.1	
14-076	引佐第3分団川名	コミュニティ	1.2	
25-014	引佐中継ポンプ場	—	1.7	



基本情報	リストNo	16-006	施設コード	00051	所管課	本庁	学校教育部指導課
	施設名	かわな野外活動センター			所管課	施設	学校教育部指導課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		自然の中での共同生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の健康の増進を図るために設置している。(浜松市かわな野外活動センター条例第1条)					
		主な業務内容	貸館業務、自然体験活動プログラム全般の指導等				
		主な利用者	小中学校の児童生徒、一般団体等				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		学校行事を中心に一定の利用者があり需要は確保されている。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子化により利用者減少の可能性があるが学校を中心にニーズは高い				
	特記事項	全体の約7割が園・学校による利用					
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	舎営施設は平成元年度竣工から30年以上経過し、建物、設備の老朽化が進んでいる。学校教育の場として小・中学校の利用が主であることから、安心・安全な施設整備に努めており、今後も計画的な維持管理を進めていかなければならない。					
	対応策	施設利用、運営に支障のないように老朽化した施設設備等の更新を短期及び中期修繕計画に沿って計画的に修繕を進めていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民生導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—	—		
民生導入	平成18年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	11,324	10,402	10,528	1人当たりのコスト(円)	4,104	4,057	5,414
	施設利用率(%)	24.2	15.4	12.7	1開館日当たりのコスト(円)	245,731	225,033	247,105
	1日当たり利用者(人)	60	55	46	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。近隣の同種施設との役割分担などを明確にしたうえで施設のあり方を検討する。								

リストNo	16-007	施設コード	01985		
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設				
施設名	天竜自然体験センター湖畔の家				
所在(町名・番地)	天竜区月963-1				
利用者の圏域別分類等	市域	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	こども家庭部次世代育成課	課長名 園田 俊士		
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 森田 修		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市立天竜自然体験センター条例				
設置目的	船岡ダム湖と周辺の森林を活用し、児童及び生徒の宿泊訓練並びに各種団体等の研修を通じて青少年の健全育成及び生涯学習の推進を図る。				
主な利用者	小・中学校、高等学校の児童・生徒等、隣接する天竜ポート場の利用者等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~				
管理者名	(株)杉の里・有限会社天龍遊船共同事業体				
開館時間	8:00 ~ 21:00				
建物情報	総延床面積	1,337.03	土地面積	6,876.96	
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	5,019.82
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	1,857.14
	建築年月日(主要建物)	1990/10/1			
	経過年数(主要建物)	32			
用途地域	都市計画区域外				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	380,419	5,433	385,852	
	国・県	国・県	50,000	—	50,000
		寄付金	—	—	—
		その他	—	—	—
		市債	233,300	—	233,300
一般財源	97,119	5,433	102,552		
特記事項	—				



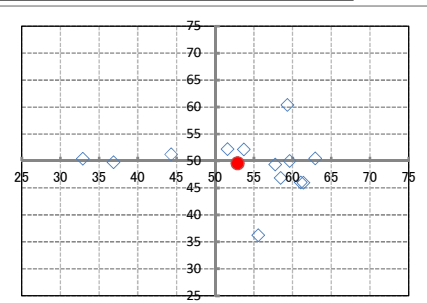
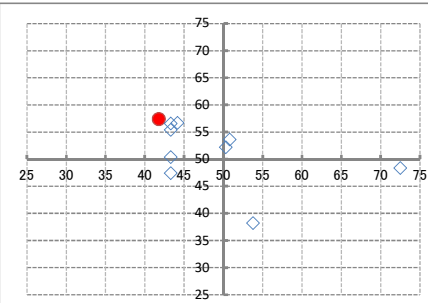
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,987	2,924	1,832
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	5,880	4,533	2,639
	収入計(A)	9,867	7,457	4,471
支出(千円)	人件費	8,189	7,207	7,026
	物件費(委託料)	2,664	2,543	2,470
	維持補修費(修繕費)	545	221	134
	物件費(光熱水費)	2,514	1,971	1,881
	物件費(借地料)	674	674	674
支出計(B)	14,586	12,616	12,185	
行政コスト(B-A)		4,719	5,159	7,714
収支前年比		91.47	66.88	8294.62
(参考)指定管理料		9,342	9,494	9,494
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	2,195	1,613	4,142
	開館日数/年	319	312	275
	施設定員数	100	100	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	30,449	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2016	宿泊棟女子トイレ改修工事	3,240			
2015	浴槽循環ろ過機等改修工事	12,420			
2008	トイレ改修工事	3,465			
2007	給湯ボイラー及び食堂棟空調設備取替工事	7,214			

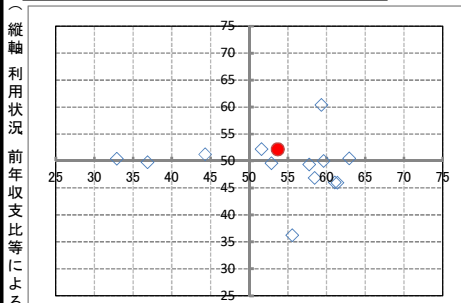
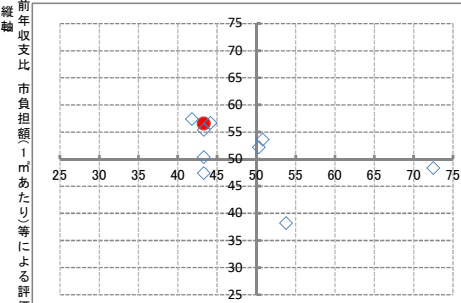
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
05-027	天竜林業体育館	地域	0.1
05-024	天竜ポート場艇庫	地域	0.1
25-024	旧月簡易水道	—	0.3
04-031	相津マリナー	地域	0.9
14-107	天竜第7分団相津	コミュニティ	0.9
05-032	伊砂ポートパーク艇庫	地域	1.5



基本情報	リストNo	16-007	施設コード	01985	所管課	本庁	子ども家庭部次世代育成課
	施設名	天竜自然体験センター湖畔の家			施設	天竜区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	若者の自立を促す環境づくりの推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		船明ダム湖と周辺の森林を活用し、児童及び生徒の宿泊訓練並びに各種団体等の研修を通じて青少年の健全育成及び生涯学習の推進を図る。					
		主な業務内容	宿泊訓練や研修機会の提供、宿泊受入				
		主な利用者	小・中学校、高等学校の児童・生徒等、隣接する天竜ボート場の利用者等				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	利用者数は減少しているものの、一定の需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子化が進んでおり、ニーズが変化する可能性がある。				
		特記事項	隣接する天竜ボート場の一体的な利活用				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		宿泊業務(参加者数を宿泊者数として記載)	2022	—	—	2,150	
			2021	—	—	1,533	
			2020	—	—	949	
			2019	—	—	—	
事業②	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—		
	施設に関する課題等(ハード面から)						
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	宿泊を主な業務としているため、入浴や食事提供など、利用者の衛生面に直結する施設特性があり、一定水準の衛生環境と安全性を確保する必要がある。また、施設建設(平成2年)から30年以上経過し、建物内の老朽化が進んでいる一方で、建設当時に比べて、利用者が宿泊施設に求めるニーズは高くなっており、これに対応する必要がある。					
	対応策	指定管理者の定期的な施設・備品等の点検の結果等に加え、利用者の声を参考に改修や修繕が必要な箇所を把握し、優先順位を定めて計画的な改修を進める。また、施設内の設備や機器などについても、耐用年数やこれまでの更新実績などを考慮し、故障などによる改修と併せて計画的に更新を進める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民生導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民生導入	平成17年度から指定管理者制度を導入し、運営している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	3,529	3,859	5,770	1人当たりのコスト(円)	2,150	3,198	1,862	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	14,793	16,535	28,051	
	1日当たり利用者(人)	7	5	15	1定員当たりのコスト(円)	47,190	51,590	77,140	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
個別方針	公共施設等総合管理計画より抜粋	<p>各用途別に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。</p>							
		<p>青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。 給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。 その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。</p>							
個別方針	民生導入	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
		2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
個別方針		<p>当面適切な維持管理に努める。船明ダム周辺の施設と一体的に更なる施設の有効活用を図っていく。</p>							

基本情報	リストNo	16-008	施設コード	04006	所管課	本庁	学校教育支援課
	施設名	ほっとエリア阿多古活動拠点施設			施設	学校教育支援課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設							
関連政策名							
子どもの生活や学びを支える教育環境づくり							
設置の妥当性	設置目的(再掲)						
	不登校児童生徒を支援するため、校外まなびの教室として利用するとともに、自然とのふれあいや地域の人々との交流活動を行う場としている。						
	主な業務内容	学習支援、社会自立に向けた支援、自然体験活動プログラム					
	主な利用者	小中学校の児童生徒、保護者					
	設置目的の継続性・妥当性						
設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり需要は確保されている。			
中長期(今後10年程度)のニーズ予測				不登校児童生徒の支援のためニーズは続く			
特記事項				公共交通機関(バス)の不足			
施設運営分析	事業名・開催回数(2022)						
	事業①	チャレンジ教室 田植え	2022	—	—	112	
			2021	—	—	106	
			2020	—	—	中止	
			2022	—	—	129	
	事業②	チャレンジ教室 川遊び	2021	—	—	中止	
			2020	—	—	94	
	事業③	チャレンジ教室 稲刈り	2022	—	—	130	
			2021	—	—	117	
		2020	—	—	89		
事業④	適応指導教室	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
	2020	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建物、設備の老朽化が進んでいるが、不登校児童生徒を支援のため、有効活用している。					
	対応策	施設利用、運営に支障がないように修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	校外まなびの教室の運営は業務委託で実施している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	949	2,152	644	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点で、利用状況を踏まえ、他の廃校等への移転なども検討する。								

リストNo	16-009	施設コード	02746	
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設			
施設名	雄踏学校給食センター			
所在(町名・番地)	西区雄踏町宇布見725			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部健康安全課	課長名 富部 哲也	
	施設	学校教育部健康安全課	課長名 富部 哲也	
設置根拠(法)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法			
条例	浜松市立学校給食センター条例			
設置目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの			
主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	1,061.28	土地面積 2,505.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.13		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1977/2/1		
	経過年数(主要建物)	46		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	241,810	—	241,810
財源	国・県	23,141	—	23,141
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	218,669	—	218,669
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	20	88,528	82,475
	収入計(A)	20	88,528	82,475
支出(千円)	人件費	9,800	9,800	9,800
	物件費(委託料)	10,140	9,933	9,823
	維持補修費(修繕費)	755	2,902	1,388
	物件費(光熱水費)	16,907	14,774	11,618
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	37,602	37,409	32,629
行政コスト(B-A)		37,582	-51,119	-49,846
収支前年比		-73.52	102.55	93.23
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		310	310	310
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	121,189	985	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2014	改修工事(厨房設備工事)	150,260	2011	調理場棟耐震補強工事(建築工事)	32,631
2014	改修工事(機械設備工事)	142,237	2011	調理場棟耐震補強工事(機械設備工事)	25,935
2014	改修工事(建築工事)	90,385			
2014	改修工事(電気設備工事)	53,790			
2012	ボイラ更新工事	10,185			
2012	給食センター屋根改修工事	6,353			

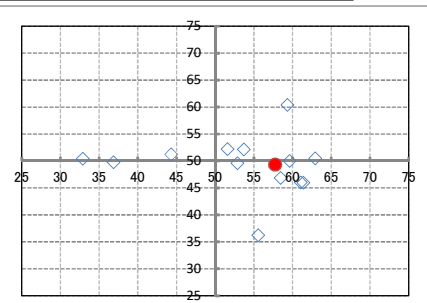
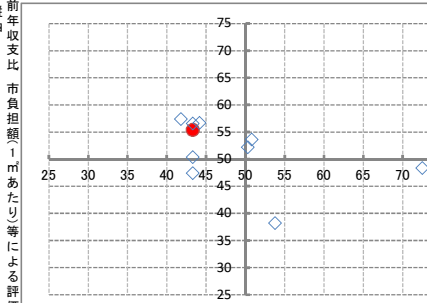
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
16-004	外国人学習支援センター	市域	1.4
13-037	田端団地	地域	0.3
08-017	雄踏保育園	生活	0.4
21-002	雄踏斎場	地域	0.5
03-011	雄踏文化センター	地域	0.6
10-007	ふれあい交流センターつつじ	地域	0.7
07-034	雄踏なかよし第1放課後児童会	生活	0.8
15-047	雄踏小学校	生活	0.8
08-038	雄踏幼稚園	生活	0.9



基本情報	リストNo	16-009	施設コード	02746	所管課	本庁	学校教育部健康安全課
	施設名	雄踏学校給食センター			所管課	施設	学校教育部健康安全課
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの					
		主な業務内容	学校給食調理・配送業務				
		主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			受配校の児童・生徒数が減少傾向にある。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			新たな受配校取り込み			
	特記事項			今後の新たな受配校取り込みによる稼働効率の維持			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	平成26年度の施設改修工事により施設・設備面は更新されたが、面積的に狭い部分がある。					
	対応策	調理・作業動線等を常に精査し、安全で効率的な運営を目指す。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—	—		
民活導入	調理・配送業務等において導入済み。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	35,412	-48,167	-46,968	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—		
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p> <p>青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。</p>							
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
安全・安心を第一に考え適切な維持管理を図る。今後児童生徒数の推移を見据えながら、効率的な施設運営について検討する。									

基本情報	リストNo	16-010	施設コード	00239	所管課	本庁	学校教育部健康安全課
	施設名	引佐学校給食センター			施設	学校教育部健康安全課	
複合施設	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの					
		主な業務内容	学校給食調理・配送業務				
		主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			受配校の児童・生徒数が減少傾向にある。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			園児、児童、生徒の減少に伴う、給食喫食数の減少と施設の老朽化に伴う更新			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	本施設は平成17年(2005)に開設後、施設、設備の経年劣化が進んでおり、施設、設備の更新、修繕の必要性が高まっている。このため、今後空調設備など大型設備等の更新が必要となってくる。					
	対応策	施設・設備の現状を調査把握し、社会情勢の変化に伴う社会的ニーズをとらえて、施設・設備の更新や改修計画を立案し、工事を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
記入欄	民活導入	廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
複合化	—	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—	—		
調理・配送業務等において導入済み。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	20,837	-17,457	-14,204	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p> <p>青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。</p>							
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
安全・安心を第一に考え適切な維持管理を図る。今後児童生徒数の推移を見据えながら、効率的な施設運営について検討する。									

基本情報	リストNo	16-011	施設コード	02385	所管課	本庁	学校教育部健康安全課
	施設名	浜北学校給食センター			施設	学校教育部健康安全課	
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの					
		主な業務内容	学校給食調理・配送業務				
		主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			受配校の一部の学校の児童・生徒数が増加傾向にある。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			前半は児童・生徒数が増加傾向にあるが、後半以降減少に転換していく。			
	特記事項						
	事業名・開催回数(2022)						
主な事業	事業①	2022	—	—	—	—	
	事業②	2021	—	—	—	—	
		2020	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	
事業③	2021	—	—	—	—		
	2020	—	—	—	—		
	2022	—	—	—	—		
事業④	2021	—	—	—	—		
	2020	—	—	—	—		
	2022	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	本施設は、平成18年(2006)に開設後、建物及び設備(厨房機器、給排水設備等)の老朽化が進行しており、多くの故障や不具合が生じる可能性がある。					
	対応策	施設・設備の状況を常に把握して、劣化に伴う消耗品の交換修繕を定期的に行い、設備機器維持の長期化を図る。また、耐用年数が過ぎた設備機器については、長期計画により徐々に更新を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管 管理主体変更 代替サービス		—	—	—	—		
記入欄	民活導入	統廃合	—	—	—		
		複合化	—	—	—		
		広域化	—	—	—		
調理・配送業務は導入済み。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	33,878	-123,449	-110,152	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	参考	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。 給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。 その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。</p>						
	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
安全・安心を第一に考え適切な維持管理を図る。今後児童生徒数の推移を見据えながら、効率的な施設運営について検討する。								

基本情報	リストNo	16-012	施設コード	04364	所管課	本庁	学校教育部健康安全課	
	施設名	天竜学校給食センター			施設	学校教育部健康安全課		
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	—	
複合施設								
関連政策名								
子どもの生活や学びを支える教育環境づくり								
設置の妥当性	設置目的(再掲)							
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの							
	主な業務内容	学校給食調理・配送業務						
	主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者						
	設置目的の継続性・妥当性							
設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
平成26年度から佐久間地区の1園、2校の調理・配送が増加した。				中長期(今後10年程度)のニーズ予測				
児童・生徒数が減少傾向にあり、調理食数も減少が予測される。				特記事項				
配食校・園数が16と多く、かつ広範囲に立地している。								
施設運営分析	事業名・開催回数(2022)							
	事業①	年度	2022	事業費(千円)	—	実施状況	のべ募集人員	参加者数
		2021	—	—	—	—	—	—
		2020	—	—	—	—	—	—
		事業②	2022	—	—	—	—	—
	2021	—	—	—	—	—	—	
	2020	—	—	—	—	—	—	
	事業③	2022	—	—	—	—	—	
	2021	—	—	—	—	—	—	
	2020	—	—	—	—	—	—	
	事業④	2022	—	—	—	—	—	
	2021	—	—	—	—	—	—	
2020	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	・建設地が池沼の埋立地であり、敷地全体の地盤沈下からアスファルト舗装部分に亀裂や沈下が生じている。・機器設備について経年劣化と日々の稼働により故障や不具合箇所が生じてきている。						
	対応策	地盤沈下は沈静化の傾向が見られるため、引き続き観察していく。機器設備は、日常点検や専門的な保守点検業務の委託により状況を把握し、計画的な保守及び更新を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—			
代替サービス	—	—	—	—				
統廃合	—	—	○	統合する学校給食センター及び配食校との調整が必要				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生導入	調理・配送業務等において導入済み。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	34,932	-35,190	-30,858	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
安全・安心を第一に考え適切な維持管理を図る。今後児童生徒数の推移を見据えながら、効率的な施設運営について検討する。								

リストNo	16-013	施設コード	01205	
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設			
施設名	春野学校給食センター			
所在(町名・番地)	天竜区春野町気田380-13			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部健康安全課	課長名 富部 哲也	
	施設	学校教育部健康安全課	課長名 富部 哲也	
設置根拠(法)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法			
条例	浜松市立学校給食センター条例			
設置目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの			
主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	667.43	土地面積 1,251.28	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1998/6/24		
	経過年数(主要建物)	24		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	318,872	17,500	336,372
財源	国・県	18,173	—	18,173
	寄付金	—	—	—
	その他	40,000	—	40,000
	市債	116,600	—	116,600
	一般財源	144,099	17,500	161,599
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	9	11,420	11,030
	収入計(A)	9	11,420	11,030
支出(千円)	人件費	7,000	7,000	7,000
	物件費(委託料)	2,395	2,590	2,787
	維持補修費(修繕費)	1,447	1,741	2,572
	物件費(光熱水費)	9,179	8,429	7,570
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	20,021	19,760	19,929	
行政コスト(B-A)		20,012	8,340	8,899
収支前年比		239.95	93.72	118.64
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		4,972	4,972	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	11,493	31,341	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	空調設備更新工事	39,832			
	2018	外壁改修工事	5,626			
	2018	屋根防水工事	4,910			
	2018	ボイラー更新工事	13,824			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-041	旧王子製紙製品倉庫	文化財	0.0
15-142	春野中学校	生活	0.0
14-127	春野第3分団気田	コミュニティ	0.2
15-088	気田小学校	生活	0.2
08-077	気田幼稚園	生活	0.2
13-071	気田団地	地域	0.2
02-014	気田地区教職員住宅	地域	0.2
25-022	旧気多簡易水道	—	0.3



基本情報	リストNo	16-013	施設コード	01205	所管課	本庁	学校教育部健康安全課
	施設名	春野学校給食センター			施設	学校教育部健康安全課	
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの					
		主な業務内容	学校給食調理・配送業務				
		主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			受配校の児童・生徒数が減少傾向にある。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			児童・生徒数が減少傾向にあり、調理食数も減少が予測される。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	①平成10年の建築以来、経年劣化による施設・設備の不具合箇所がみられるとともに、調理器具(備品)の更新も求められている。②1000食対応で設備され、過疎化による児童生徒の減少が続く中、経年劣化による調理器具の更新の際には適正規模に縮小しているものの、調理食数に対して稼働に伴う光熱水費が非効率な状態が続いている。					
	対応策	・施設・設備の状況を把握し、計画的な予算の確保と施設修繕・設備更新を実施していく。・電気使用量の監視装置を設置し、使用状況を把握し、調理業務受託者と協力工夫し削減に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管		—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	○	統合する学校給食センター及び配食校との調整が必要			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生導入	調理・配送業務等において導入済み。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	29,984	12,496	13,333	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—		
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸） 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
安全・安心を第一に考え適切な維持管理を図る。今後児童生徒数の推移を見据えながら、効率的な施設運営について検討する。									

リストNo	16-014	施設コード	05095	
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設			
施設名	防災学習センター			
所在(町名・番地)	中区山下町192			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人	
	施設	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市防災学習センター条例			
設置目的	防災に関する知識の普及及び啓発の拠点施設として、多くの市民に防災の学習や体験の場を提供するとともに、次世代の担い手となる小・中学生の防災知識と意識の向上を図る。			
主な利用者	小・中学校、防災活動団体、その他			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~			
管理者名	遠鉄アシスト・ぴっぴ共同事業体			
開館時間	9:30 ~ 21:30			
建物情報	総延床面積	2,021.07	土地面積 4,264.80	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1989/3/1		
	経過年数(主要建物)	34		
用途地域	近隣商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	404,087	—	404,087
財源	国・県	125,900	—	125,900
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	178,600	—	178,600
	一般財源	99,587	—	99,587
特記事項	令和4年度より利用料金制を導入したため光熱水費や電話料金に係る支出及び施設使用料に係る収入がなくなっています。			



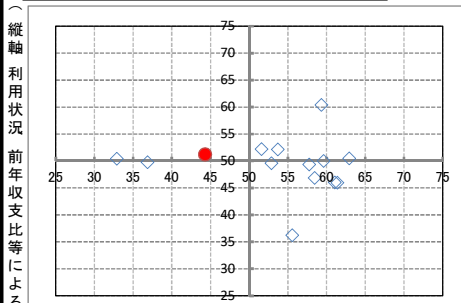
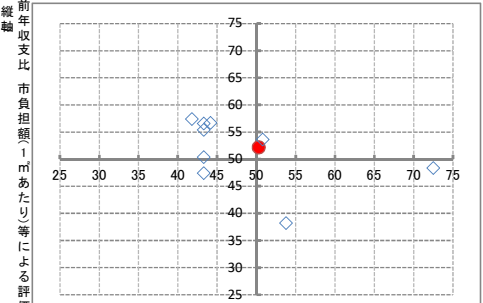
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	587	260	247
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	208	216	282
	収入計(A)	795	476	529
支出(千円)	人件費	23,613	24,974	25,904
	物件費(委託料)	5,623	7,176	5,818
	維持補修費(修繕費)	1,095	903	1,025
	物件費(光熱水費)	2,906	2,526	2,100
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	33,237	35,579	34,847	
行政コスト(B-A)	32,442	35,103	34,318	
収支前年比	92.42	102.29	108.03	
(参考)指定管理料	43,500	43,796	43,796	
(参考)減価償却費	7,159	7,159	7,159	
利用状況	利用コマ数/年	922	654	583
	利用可能コマ数/年	11,505	11,622	10,959
	施設利用者数/年	11,935	9,894	9,275
	開館日数/年	295	298	281
	施設定員数	120	120	120
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	331,780	88,929	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
16-002	青少年の家	市域	1.5
18-055	山下町書庫	地域	0.0
14-034	浜松第6分団	コミュニティ	0.2
14-002	消防局・中消防署	市域	0.4
01-002	元目分庁舎	市域	0.5
03-006	勤労会館	地域	0.6
04-015	茶室「松韻亭」	地域	0.7
01-004	イーステージ浜松オフィス棟	市域	0.8
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.8



基本情報	リストNo	16-014	施設コード	05095	所管課	本庁	危機管理監危機管理課
	施設名	防災学習センター			施設	危機管理監危機管理課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設							
関連政策名							
防災に関する知識の普及及び啓発							
設置の妥当性	設置目的(再掲)						
	防災に関する知識の普及及び啓発の拠点施設として、多くの市民に防災の学習や体験の場を提供するとともに、次世代の担い手となる小・中学生の防災知識と意識の向上を図る。						
	主な業務内容	施設展示物の案内、防災関連講座、各種イベントの開催、貸館業務					
	主な利用者	小・中学校、防災活動団体、その他					
施設運営分析	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか <small>新型コロナウイルス感染症の影響により目標集客数を達成できていないが、小中学生向け学習講座を中心に参加者が回復傾向にある。</small>						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後、小・中学校を中心に安定した利用者の確保に努める			
	特記事項						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
					のべ募集人員	参加者数	
	事業①	小中学生向け学習講座 81回	2022	—	—	4,070	
			2021	—	—	3,559	
			2020	—	—	3,223	
事業②	一般向け学習講座 11回	2022	—	—	481		
		2021	—	—	269		
		2020	—	—	441		
事業③	一般向け体験講座 10回	2022	—	—	188		
		2021	—	—	183		
		2020	—	—	33		
事業④	イベント 3回	2022	—	—	298		
		2021	—	—	151		
		2020	—	—	214		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	・展示物の老朽化 ・展示物の陳腐化					
	対応策	・定期的な点検と迅速なメンテナンス ・令和5年度中にVRを活用した新しい展示の追加 ・展示物の大規模な更新は当面できないことからソフト面で最新トレンドを取り入れた防災情報の提供にて対応					
	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
記入欄	廃止	—	—	—	—		
	民間移管	—	—	—	—		
	管理主体変更	—	—	—	—		
	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	平成30年12月の開館と同時に指定管理者制度を導入している。令和4年度からの指定管理期間より利用料金制度を導入。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	16,052	17,369	16,980	1人当たりのコスト(円)	2,718	3,548	3,700
	施設利用率(%)	8.0	5.6	5.3	1開館日当たりのコスト(円)	109,973	117,795	122,128
	1日当たり利用者(人)	40	33	33	1定員当たりのコスト(円)	270,350	292,525	285,983
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
指定管理者による施設の効率的、効果的な活用に努める。ハードについては躯体に大きな影響を与えないよう迅速な修繕や予防保全に努める。								